

男子主将

失礼いたします。男子主将を務めさせていただいております、教育協働学科スポーツ科学専攻 3回生の浅井応介と申します。

日頃より OB・OG の皆様ならびに関係者の皆様には、多大なるご支援、ご声援をいただき、深く御礼申し上げます。

今年度の秋季リーグでは、男女共に 4 部へと降格する結果となり、非常に悔しさの残る結果となりました。主将としてチームを率いてきた中で、チームのメンバーの実力が発揮しきれなかった場面が目立ちました。

現在の男子チームは経験の少ないメンバーも多く、個々のポテンシャルをどう引き出すかが大きなテーマとなっています。だからこそ、今は「個の成長」と「チーム力の再構築」を同時に進めていく大切な時期だと思っています。特に、技術力だけでなく、試合の流れを読む力や、苦しい場面で踏みとどまるメンタル面など、実際の試合で必要となる力をどう練習に落とし込むかが重要です。私自身がこれまでのバドミントン人生で経験してきた成功や失敗を、後輩たちにしっかり伝え、チーム全体で共有していきたいと考えています。

新体制となり至らぬ点も多くありますが、チーム一丸となって努力してまいります。
引き続きご指導・ご支援のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

女子主将

失礼いたします。女子主将を務めさせていただいております、養護教諭養成課程 3回生の寺島成美と申します。

日頃より OB・OG の皆様ならびに関係者の皆様には、多大なるご支援、ご声援をいただき、深く御礼申し上げます。

さて、今年度の秋季リーグでは男女ともに 4 部へと降格し、悔しさの残る結果となりました。男子主将の浅井と私は、関西選手権などで A のトーナメントに出場し試合経験を積んでまいりましたが、現在のチーム構成は B に出場する選手が中心であり、今はまさにチーム全体の底上げが求められる時期だと感じております。

そのため、これまでのバドミントン人生で培ってきた技術面や試合の運び方、勝つための考え方などを、日々の練習を通して後輩へ伝え、引き継いでいくことが私たち主将陣の役割であると考えております。ただ練習量を増やすだけでなく、一人ひとりが自らの課題に気づき、改善し、勝てるチームへと成長していく環境づくりに努めてまいります。

新体制となり至らぬ点も多くありますが、今シーズンで得た悔しさを力に変え、来季は必ず 3 部へ復帰できるよう、チーム一丸となって努力してまいります。

引き続きご指導・ご支援のほど、よろしくお願ひ申し上げます。